

論文審査の結果の要旨

報告番号	甲・乙 第 3270 号	氏名	北島 徹也
論文審査担当者	主査 吉田 仁 教授 副査 根本 哲生 教授 副査 松山 高明 教授		
(論文審査結果の要旨)			
論文題名：食道扁平上皮癌における KLF4 発現に関する臨床病理学的検討 掲載雑誌名：昭和学会雑誌 2021 年 掲載予定			
<p>Kruppel-like factor 4(KLF4)は転写因子の1つであり、生体内にて細胞の増殖・分化・アポトーシスに関与しており、癌においては発現する組織により癌抑制遺伝子もしくは癌遺伝子として働くことが知られている。北島らは、術前化学療法後に外科的切除された食道扁平上皮癌 88 症例の組織標本を用いて、免疫組織化学染色を用いた KLF4、p53 の発現と臨床病理学的特徴(腫瘍径、分化度、深達度、リンパ管・静脈侵襲、リンパ節転移の有無、進行度)との相関について解析した。食道扁平上皮癌組織と正常食道粘膜組織において、KLF4 の発現率はそれぞれ 51.1%、88.6%であった。また、KLF4 の発現が陰性の症例は、進行癌・リンパ節転移症例に多くみられ、有意な関連がみられた。一方で、p53 の発現と臨床病理学因子との有意な関連はみられなかった。以上より、本研究から食道扁平上皮癌においては、KLF4 の癌抑制因子としての側面が見いだされた。これらの知見は高いオリジナリティーと学術的価値を有し、本論文は本学大学院学位論文(博士)審査基準を満たしており、学位論文に値すると判断した。</p>			

(主査が記載)